

令和2年度

大阪教育ゆめ基金 関連事業一覧



大阪府教育庁

大阪教育ゆめ基金について

大阪府では、大阪の子どもたちの「学び」と「はぐくみ」を支えるため、平成 20 年 12 月に「大阪教育ゆめ基金」を設置し、子どもたちの学力を向上させる取組みや、子どもたちの豊かな心をはぐくむための取組みなどに活用しています。

基金積立の財源について

大阪教育ゆめ基金は、広く府内外の個人や企業の皆様からご寄附を賜り、多くの方々のご協力によって支えられる基金となっています。

寄附実績（令和 3 年 3 月 31 日現在）

641 件 426,596,963 円

基金活用事業について

令和2年度は、皆様からいただいたご寄附を次のような事業に活用しました。

愛さつ OSAKA 展開事業（こころの再生府民運動）	3
スポーツ指導・体力向上支援推進事業	4
子ども読書活動環境整備事業	5
家庭教育力向上事業	6
英語教育推進事業	7
スクール・エンパワーメント推進事業	8
小中学校における日本語指導推進事業	9

1	愛さつ OSAKA 展開事業 (こころの再生府民運動)	事業費：487 万円 (基金活用額：487 万円)
---	---------------------------------------	-------------------------------------

府内の府立学校や私立学校・市町村立小中学校で実施する「あいさつ運動」では、のぼりを立て、地域や保護者の方にあいさつの大切さを呼びかけ、「こころの再生」府民運動の広報・啓発を行っています。

この「あいさつ運動」で使用するのぼり、ポールを作成したほか、地域の方々により広くこの活動を知っていただくために、ビブス（衣服の上から着用するメッシュ地のベスト）を作成し、あいさつ運動の際に着用していただいています。



2	スポーツ指導・体力向上支援推進事業	事業費：5万円 (基金活用額：5万円)
---	-------------------	------------------------

大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力の向上、運動習慣の定着を図るためスポーツイベントを企画しました。

○ トップアスリートによるスポーツ教室（出張編）

※市町村が実施するイベント等にトップアスリートを府から派遣する取組み

開催実績 箕面市：バドミントン



トップアスリートによるスポーツ教室（出張編）の様子

3	子ども読書活動環境整備事業	事業費：23 万円 (基金活用額：23 万円)
---	---------------	----------------------------

子どもたちが本に親しむきっかけを作るとともに、作家との交流を通じてより深く読書に興味・関心を高めることを目的とし、作家が学校園を訪問し、子どもたちに対してワークショップやお話を行うオーサービジット事業を、OSAKA PAGE ONE キャンペーン推進会議メンバーご協力のもと、府内8校園で実施しました。



4	家庭教育力向上事業	事業費：97 万円 (基金活用額：49 万円)
---	-----------	----------------------------

子どもの「未来に向かう力（非認知能力）※」育成に向け、その土台形成となる乳幼児のいる家庭の教育力の向上を図るため、令和元年度に作成した啓発資料等を活用し、子育て講演会や講座等で育成のポイントなどを伝える取り組みを、府内の2市でモデル実施しました。

また、府が主催する研修会やシンポジウムを開催するとともに、市町村との共催による講演会等を府内4か所で実施することにより、子どもの「未来に向かう力（非認知能力）」育成の重要性について普及を行いました。

※ 未来に向かう力（非認知能力）：「目標に向かってがんばる力」「気持ちをコントロールする力」「人と関わる力」など、自分や他者と折り合いをつける力。乳幼児期にその核となる部分が形成され、認知能力とともに、子どもの将来にとって大切な力。



シンポジウムの様子



啓発資料（リーフレット）

5	英語教育推進事業	事業費：44 万円 (基金活用額：24 万円)
---	----------	--------------------------------

府立高等学校の生徒と海外の大学生が協働して SDG s のテーマに関連した社会課題について話し合い、解決策を提案することで、将来、国際社会のリーダーとして、自国の視点だけでなく、グローバルな視点で社会課題を解決する力を身に付けることを目的に、海外の大学生とオンラインによる交流を行いました。



6	スクール・エンパワーメント推進事業	事業費：6万円 (基金活用額：6万円)
---	-------------------	------------------------

府内の小・中学校における一層の学力向上を目的に、保護者・地域等と連携しながら学力向上に積極的に取り組む学校を推進校に指定しています。平成25年度から平成28年度までは84中学校、平成29年度は、120小学校、64中学校、平成30年度は82小学校、41中学校を推進校に指定し、スクール・エンパワーメント担当教員を位置づけ、取組みを進めてきました。また、令和元年度は、84小学校、41中学校を指定し、市町村・学校の課題に正対した取組みや学校図書館の活用による取組みを進めました。

令和2年度は、国語の授業づくりを中心に取り組む学校も加え、93小学校48中学校において取組みを進めました。

推進校に対しては、府教育庁と市町村教育委員会が連携しながら、学校の取組みに対する助言を行うことで市町村全体の学力向上に向けた支援を行いました。

推進校の優れた取組みについては、フォーラムなどで報告していただき、府内の小・中学校に広く普及しました。

7	小中学校における日本語指導推進事業	事業費：3,867万円 (基金活用額：755万円)
---	-------------------	------------------------------

「小中学校における日本語指導推進事業」では、日本語指導スーパーバイザーによる「特別の教育課程」による日本語指導の推進、外国人児童生徒支援員による児童生徒支援、日本語指導支援員による夜間中学の外国籍生徒への学習支援の3つに取り組んでいます。

「特別の教育課程」による日本語指導は、日本語指導が必要な児童生徒を、在籍学級以外の教室で個別に日本語の学習を進めるものです。校長OBである、4人の日本語指導スーパーバイザーが府内の小中学校を訪問し、学校の受入体制づくりのアドバイスや個別の指導計画作成の支援、個に応じた適切な教材の提供など日本語指導のノウハウを伝え、「特別の教育課程」がより効果的に実施できるよう支援してきました。その結果、本事業が実施された令和元年度当初の大阪府域（中核市除く）の「特別の教育課程」による日本語指導実施率は78.9%でしたが、令和2年度終わりの実施率は96.1%に向上しました。

外国人児童生徒支援員は、府域に16人配置し、日本語指導が必要な児童生徒の学習面や生活面のサポートをしています。令和2年度は、当該児童生徒への相談対応が約4,000件、保護者への相談が約180件であり、コロナ禍において情報が届きにくい当該児童生徒・保護者から感謝されています。

日本語指導支援員は、外国籍生徒が多く通う夜間中学（府域6校）に1人ずつ配置し、日本語の支援が必要な生徒の個別指導や、授業の中で教員の補助者として生徒の支援を行いました。これにより、夜間中学の生徒は、初歩的な日本語を身に付け、授業でのやりとりや各教科の授業内容の理解が深まりました。



寄附金の申込み・納付方法

- ご寄附いただける場合、下記の3種類がございます。

郵送等での申込み

郵便、ファックス又は電子メールのいずれかの方法によりお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み(クレジットカード納付)

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

VISA、Master、JCB がご利用いただけます。

詳しくは大阪府ホームページ「 Loving OSAKA [ラビング オオサカ] 納税(ふるさと納税)寄附のお申込み方法 」をご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/toshimiryoku/furusato-nozei/kifugoannnai.html>



大阪教育ゆめ基金に関する問合せ先

大阪府教育庁 教育総務企画課

Tel : 06-6944-6049

Fax : 06-6944-6884

E-mail : kyoisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp